

## 令和5年度 自己点検・自己評価報告書(概要)

学校法人 食糧学院  
東京栄養食糧専門学校

大項目	自己点検・自己評価
基準1 教育理念 目的・育人人材像	<p>本校は「専門教育に誇りを持ち、社会から信頼される教育機関を目指すと共に社会から高い評価を得られる学術・技能に優れた人材の育成に努める」ことを教育の理念・目標に掲げ、社会に貢献できる栄養士・管理栄養士の育成に努めている。具体的には「栄養士・管理栄養士が持つ基本的スキルである調理技術や身体状況に見合う献立作成技術の習得、更には栄養指導、栄養教育に不可欠な他人を思いやる豊かな人間性の涵養」を周知しているところである。</p>
基準2 学校運営	<p>年度当初に策定した事業計画・予算案に基づき運営している。学校の組織の中で、学院本部、調理校、栄養校の部長以上が出席する学院運営会議があり、学校内では課長、科長以上が出席する栄養校の運営委員会、さらには栄養校の運営委員会から1週間後に栄養校の教職員会議を実施している。先に実施した会議での決定事項等を連絡、伝達し、その他朝、週1回の朝礼を実施し、1週間の行事等の確認、意思の疎通、決定、連絡事項を行っている。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート校や定時制からきている学生や、コミュニケーションがとれない学生が増えているが、どのように対応すればいいのか学んでいない教職員もいる。</li> </ul> <p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害を含め、理解できるよう教職員研修を実施した。提出物が出せない、指導したとおりに調理の手が動かさない学生に対するの対応について気づきがあった。文部科学省から示された令和の日本型学校教育への対応、小・中・高が現在どのような取り組みをしているのか知る機会を設けている。</li> </ul>
基準3 教育活動	<p>職業実践専門課程に相応しいカリキュラムを作成するため、栄養士・管理栄養士のあるべき姿のイメージ像を描き、教育課程編成委員会の提言を尊重すると共に、将来の「就職」も視野に企業・業界団体との連携を図り、企業等が求める人材ニーズを反映させたものとするを心掛けている。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より実践的力を身に付ける授業を行いたい。</li> </ul> <p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場で働いている方に来ていただき、15回の授業を実施し、実践力をつけようと試みている。</li> </ul>
基準4 教育成果	<p>全ての学生が高い満足度、充実した学校生活を感じて卒業すると共に、卒業生が社会で活躍し貢献することを期待する。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者に対して管理栄養士科100%、栄養士96%の就職率。進級や卒業後の就活を希望する学生も一定数いる。</li> <li>・令和4年度は歯科が人気だった。調理技術に自信が持てず、調理に関わらない分野が増えた。</li> <li>・保育園へ就職した学生にはカレンダー通りの仕事をしたいと考える学生もいる。</li> <li>・学校に来るだけで精一杯という学生と、大学卒の既卒の学生が同じ教室で同じ内容を学ぶと理解度に差が出てしまう。どちらのレベルに合わせて授業するのは難しい。</li> </ul> <p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業についていけない学生へのサポートをしている。</li> <li>・令和4年度から始めてはいるが、さらに令和5年度は学習支援課をつくり基礎学力向上を図っている。</li> <li>・科目の点数が上がることも大事だが、できるようになったという成功体験の積み重ねを習慣化につなげる。</li> </ul>
基準5 学生支援	<p>栄養士・管理栄養士を目指す意欲を喚起し、安心・安全に勉学を励むことができるよう支援体制ならびに施設環境を整えている。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校納金を収めるのが精一杯で、アルバイトに時間を割いている。</li> </ul> <p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育後援会だけでなく、学友会からも奨学金の支援を始めた。</li> <li>・スクールカウンセラーを配置</li> </ul>
基準6 教育環境	<p>常に充実した施設設備・環境のもと、最高水準の職業実践教育を授け学生の想い・夢・希望を叶えていきたい。普通教室以外、臨床栄養学実習室、第1・第2製菓実習室、第1～第5調理実習室、生理学実験室、衛生学実験室、理化学実験室、給食経営管理センター、給食経営管理実習室(HACCP対応)、栄養教育実習室、視聴覚教室、コンピューター実習室、食品加工実習室、健康体力教育センター(多目的スタジオ・トレーニングルーム)、就職(進路)相談室、図書室、学生ホール、ICTルーム、多目的ホールなどを備えている。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCやWi-Fiの補強を優先して行っている。</li> </ul>

	<p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化による新規購入では実験・実習に関わる箇所では、厳しい予算の中で購入している。</li> <li>・ICT ルームのリニューアル、アイスの自動販機、携帯電話の充電器のレンタルなど、学生が求めるものを導入している。</li> </ul>
基準7 学生の募集と受入	<p>学院本部に学院広報室がある。さらに本校には教員を中心とした広報委員会が組織されており両者が協働一体で学生募集活動を実施している。学院広報室は主に学外での広報活動に従事し、高校訪問や会場ガイダンス等を実施している。一方、学内では学校広報委員会を中心に全教職員をあげてオープンキャンパスをはじめとする学生募集活動を実施している。</p> <p>栄養士・管理栄養士を目指す意欲ある学生は、是非伝統と歴史と実績のある本校で学んで頂きたい。そのためには、本校のアドミッションポリシーを理解し、真摯な態度で勉学に励む事を望むものである。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度と比較すると令和4年度はOC参加者、入学者が減少した。</li> <li>・管理栄養士科が激減した。</li> <li>・新卒者の募集は厳しい。</li> </ul> <p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学にはない専門学校の良さを分かりやすくアピールする。</li> <li>・これだけは負けないというものを打ち出す。</li> <li>・既卒者の入学は増えてきている。年度の前半から入学に動き出す既卒者が一定数いるので、既卒者限定の説明会を設けた。平均して10名は来校があり、参加者の満足度は高い。ハローワークと連携すればより増加を見込めるのではないかと検討する。</li> </ul>
基準8 財務	<p>無借金経営であり中期的な財務基盤は安定しているが、校舎等の老朽化により近い将来の建て直しの検討も必要となっている。「充実した教育目標に即した経営基盤の強化」を達成するために、①定員の確保 ②退学率の低下に努力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の財務情報は、現在HPで公表中である。</li> </ul> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日出勤の振り替えを取ることができなかったところを一斉に清算したので費用がかかった。</li> <li>・予想外の電気代高騰があった。</li> </ul>
基準9 法令等の遵守	<p>関係法規を基本とし、法令・設置基準等を遵守している。また、ISO 14001に基づき環境保護等に配慮した教育を行っている。</p> <p>法令の中でプライバシーをどこまで守れるかということが重要である。実際にコロナ感染者が学内に発生し、出欠および公欠者の把握についてプライバシーを守りながら、週一回の朝礼またはメールで随時、共有し、学生が完治して戻ってきやすい環境づくりに配慮している。</p> <p>ハラスメント研修を受け、ハラスメント事案が起きないようにしている。学生からの授業アンケートでもハラスメント関連の苦情はみられなかった。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則の刷新を行った。</li> </ul> <p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女雇用機会均等法の細かい部分を就業規則や内規に組み入れた。</li> <li>・個人情報保護法についても刷新中。</li> </ul>
基準10 社会貢献	<p>教職員は、本校の教育資源を社会貢献や地域貢献に活用できるよう自覚を持って行動している。</p> <p>【現状と問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で活動が一時中断することもあった。</li> </ul> <p>【改善のための方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ZOOMを使用し、海外の高校生の調理実習を進めた。</li> <li>・SDGsの一環として、学生が放置していたビニール袋をフリー傘として学内に設置。</li> <li>・産学コラボが企業と連携し、コラボ商品の開発を行っている。</li> </ul>